

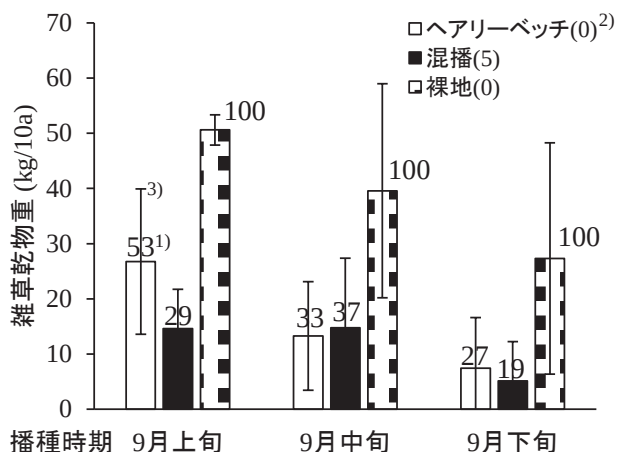


図1 越冬性緑肥の作付が雑草乾物重(すき込み時)に及ぼす影響

(播種年次2016~2019年、中央農試、n= 4)

- 1) 図中の数値は、各播種時期の裸地を100とした指数。
- 2) 凡例の () の数値は、窒素施肥量 (kg/10a)。
- 3) エラーバーは標準偏差。
- 4) 主な発生雑草はハコベ、スカシタゴボウ、スズメノカタビラ。

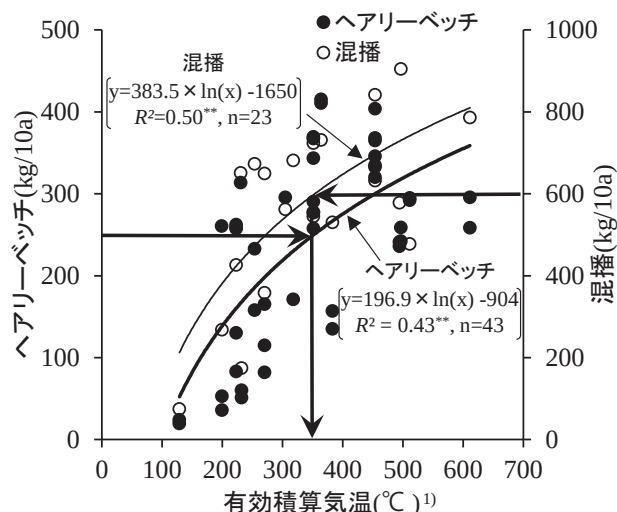


図2 播種翌日から年末までの有効積算気温とすき込み時の乾物重の関係

(播種年次2016~2019年、中央農試および十勝管内)

- 1) 有効積算気温：日平均気温（平年値）から4℃差し引いた値（下限0）の積算値。
- 2) 中央農試は中央農試本場のマメダスデータ、十勝管内は帯広のアメダスデータを利用。

表1 後作物の窒素減肥量 (kg/10a)

ヘアリーベッチ						混播			
乾物重 (kg/10a)	100	200	250	300	400	200	400	600	800
草丈(cm) ¹⁾	15	30	35～40	45	60	-	-	-	-
有機栽培 (有機質肥料)	2.0	4.5	5.5	7.0	9.5	0.5	1.0	1.5	2.0

- 1) つるを伸ばさずそのままの状態 で地面から測定した値。
- 2) 後作物のカリ減肥量は北海道施肥ガイドに準拠。なお、乾物100kg中のカリ含有量はヘアリーベッチで4kg、混播で3.5kgを目安とする。

表2 緑肥の窒素減肥対応によるかぼちゃの収量と窒素吸収量

(試験年次2018~2020年、中央農試および十勝管内、n= 5)

試験区	窒素施肥量 (kg/10a)	窒素減肥量 (kg/10a)	収 量		窒素吸収量 (kg/10a)
	平均(最小~最大)	平均(最小~最大)	(t/10a)	比	
標肥区(裸地)	11.2 (8.0~12.0) ¹⁾	—	1.85 a ²⁾	100	11.2 a
減肥区 ヘアリーベッチ	6.4 (5.0~9.0)	4.8 (2.0~7.0)	1.92 a	103	11.3 a
(緑肥) 混播	9.5 (6.0~10.5)	1.7 (1.5~2.0)	1.79 a	98	10.0 a

- 1) 標肥区の窒素施肥量は、供試圃場の熱抽N (3.2~5.3mg/100g) に応じて設定。
- 2) 統計解析は Tukey-Kramer (p<0.05) による。
- 3) 資材コスト (農試購入価格による試算)

緑肥種子代：ヘアリーベッチ5,000円/10a、混播7,500円/10a

窒素減肥量に相当する資材代 (発酵鶏ふん750円/袋 (15kg)、N4%、Nとして0.6kg/袋)：ヘアリーベッチ6,000円/10a (4.8kg/10a ÷ 0.6kg/袋 = 8袋)、混播2,125円/10a (1.7kg/10a ÷ 0.6kg/袋 = 2.3袋)

詳しい内容については、次にお問い合わせください。

道総研十勝農業試験場 生産技術グループ

電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp